

大雨・洪水災害

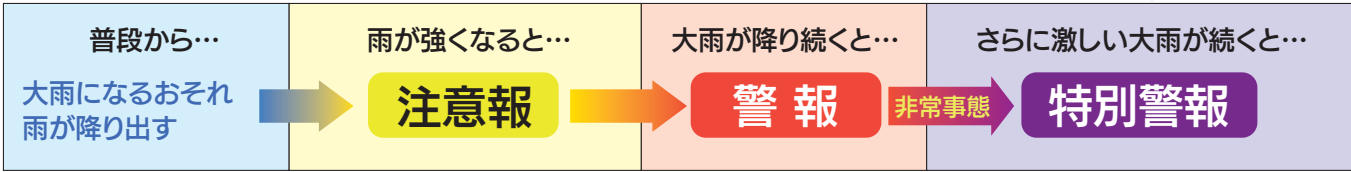
近年、台風や集中豪雨による大雨・洪水災害が頻発し、人命や財産などに大きな被害をもたらしています。大雨・洪水災害に対する理解を深め、日ごろから安全対策をしっかりと行いましょう。

●大雨・洪水に関する注意報・警報

大雨・洪水による災害のおそれがあると予想された際、その災害の重大さに応じて宮崎地方気象台から「大雨・洪水注意報」、「大雨・洪水警報」、「大雨特別警報」が発表されます。

市では、これらの注意報等を受けて迅速に災害対応を進め、みなさんに伝達します。

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表



●記録的短時間大雨情報

市で大雨警報発表中に、数年に一度程度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨を観測（地上の雨量計による観測）又は解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析）したときに、府県気象情報の一種として発表されます。日南市の発表基準は、**1時間120ミリ以上を観測又は解析**したときです。

●雨の強さと降り方

雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意して危険と判断した場合は、早めの避難を心がけましょう。

1時間雨量 (mm)	10mm以上20mm未満	20mm以上30mm未満	30mm以上50mm未満	50mm以上80mm未満	80mm以上
	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
予報用語					
人の受ける イメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような 圧迫感がある恐怖 を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで 足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり 視界が悪くなる	
屋内の様子	雨の音で話し声が良く 聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
車に乗って いて	—————	ワイパーを速くして も見づらい	高速走行時、車輪 と路面の間に水膜 が生じブレーキが 効かなくなる(ハイドロ プレーニング 現象)	車の運転は危険	

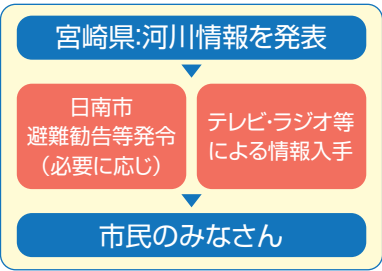
●洪水に関する河川情報

大雨により広渡川、酒谷川の水位が上昇した場合、気象庁は宮崎県と共同して、「指定河川洪水予報」を行います。発表される洪水予報は、「はん濫注意情報」、「はん濫警戒情報」、「はん濫危険情報」、「はん濫発生情報」の4つがあります。川沿いでは情報に注意し、すばやい行動を心がけましょう。



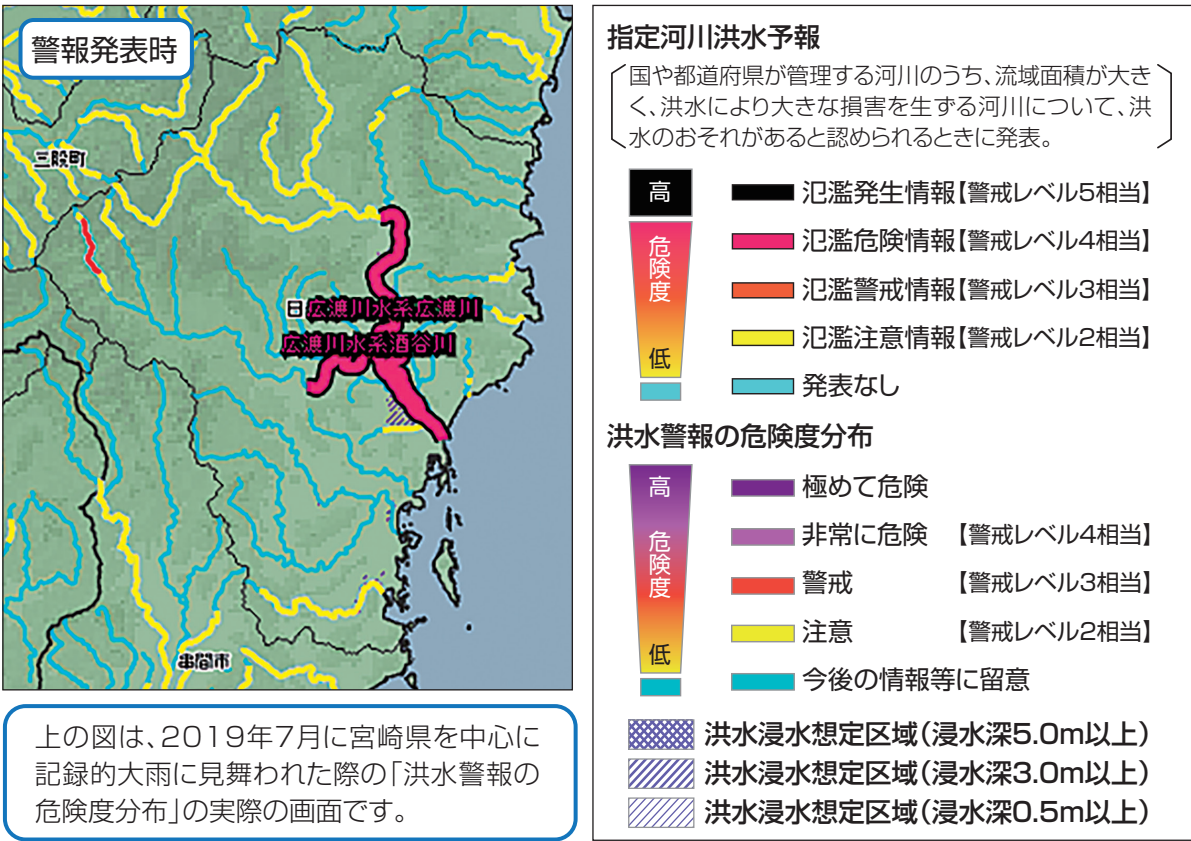
《水位観測所の基準水位》

		谷之城橋	東郷橋	本町橋	東光寺橋	大堂津橋	宮之前橋
水位 (m)	はん濫危険	5.60	4.10	3.50	3.80	1.60	3.60
	避難判断	5.30	3.80	2.80	3.50	1.40	2.80
	はん濫注意	5.10	3.60	2.30	3.50	1.40	2.50
	水防団待機	4.70	3.20	2.00	3.10	1.10	1.90



●洪水警報の危険度分布

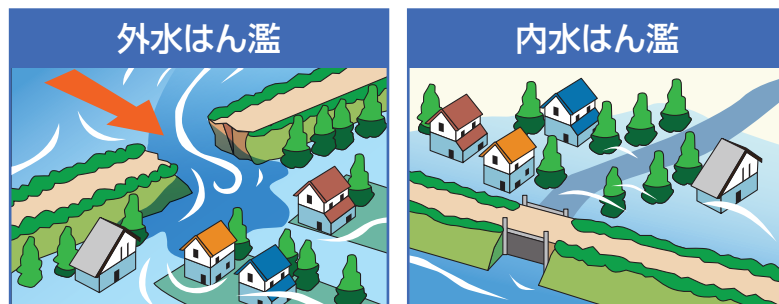
洪水警報の危険度分布は、洪水警報を補足する情報です。中小河川(水位周知河川及びその他河川)の洪水害発生危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。危険度を5段階に判定し、色分け表示しています。



●外水はん濫と内水はん濫

洪水には、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生する「外水はん濫」と、降った雨が水路などで排水しきれなくなるにより起こる「内水はん濫」があります。

みなさんが住んでいる地域ではどのような洪水が発生しやすいかを確認しておきましょう。

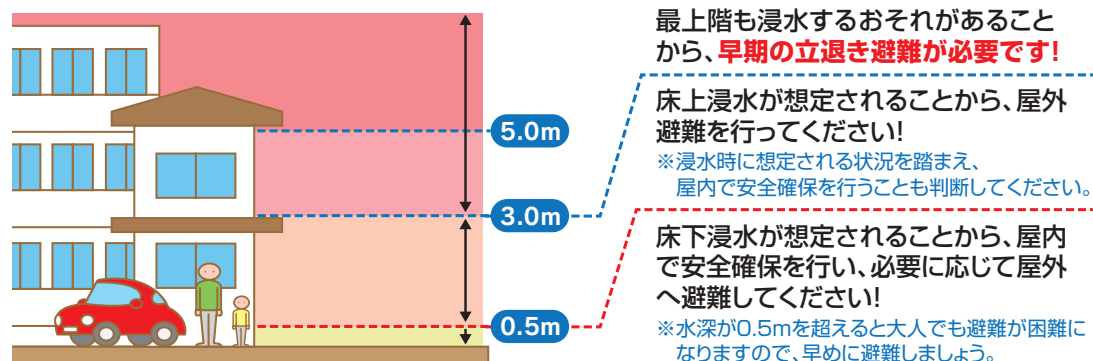


防 災 メ モ ～降雨と河川水位の関係～

雨が止んだり、小降りになったときでも、河川の水位が上昇する場合があります。また、自宅周辺が大雨でなくとも、河川の上流が大雨の場合、急激に水位が上昇することも想定されますので、上流の雨の状況と河川の水位の情報に注意が必要です。

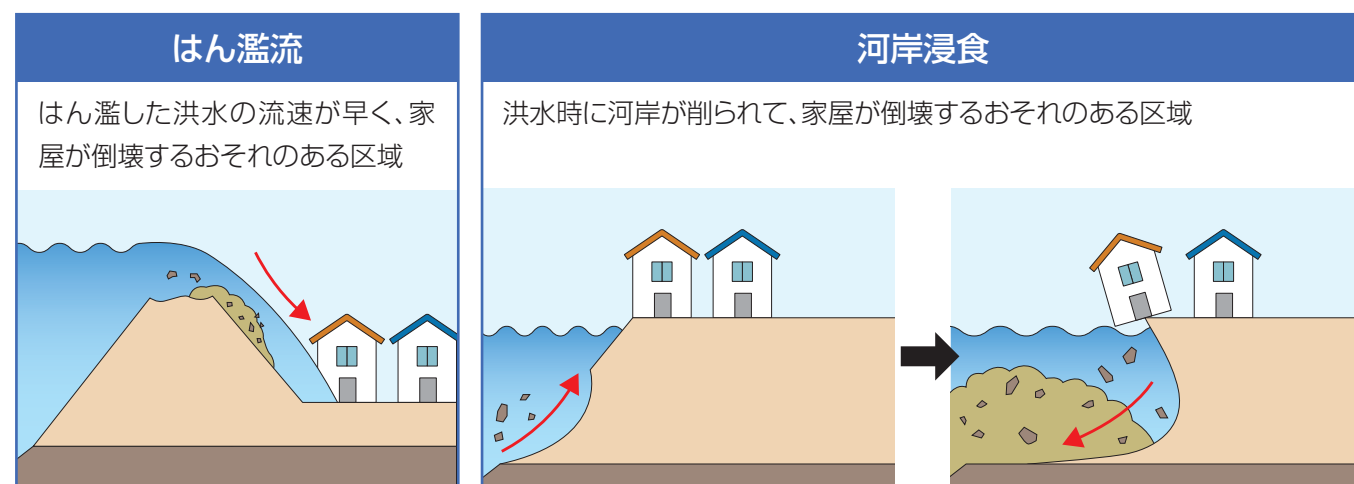
●洪水浸水深の目安と避難行動

ハザードマップには、大雨で河川から水があふれたときに想定される水深を色別に表示しています。自分の家がどの程度浸水するかを確認し、安全対策を行いましょう。



●家屋倒壊等はん濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの地域を「家屋倒壊等はん濫想定区域」として設定しています。



！ 日頃からの準備が大切

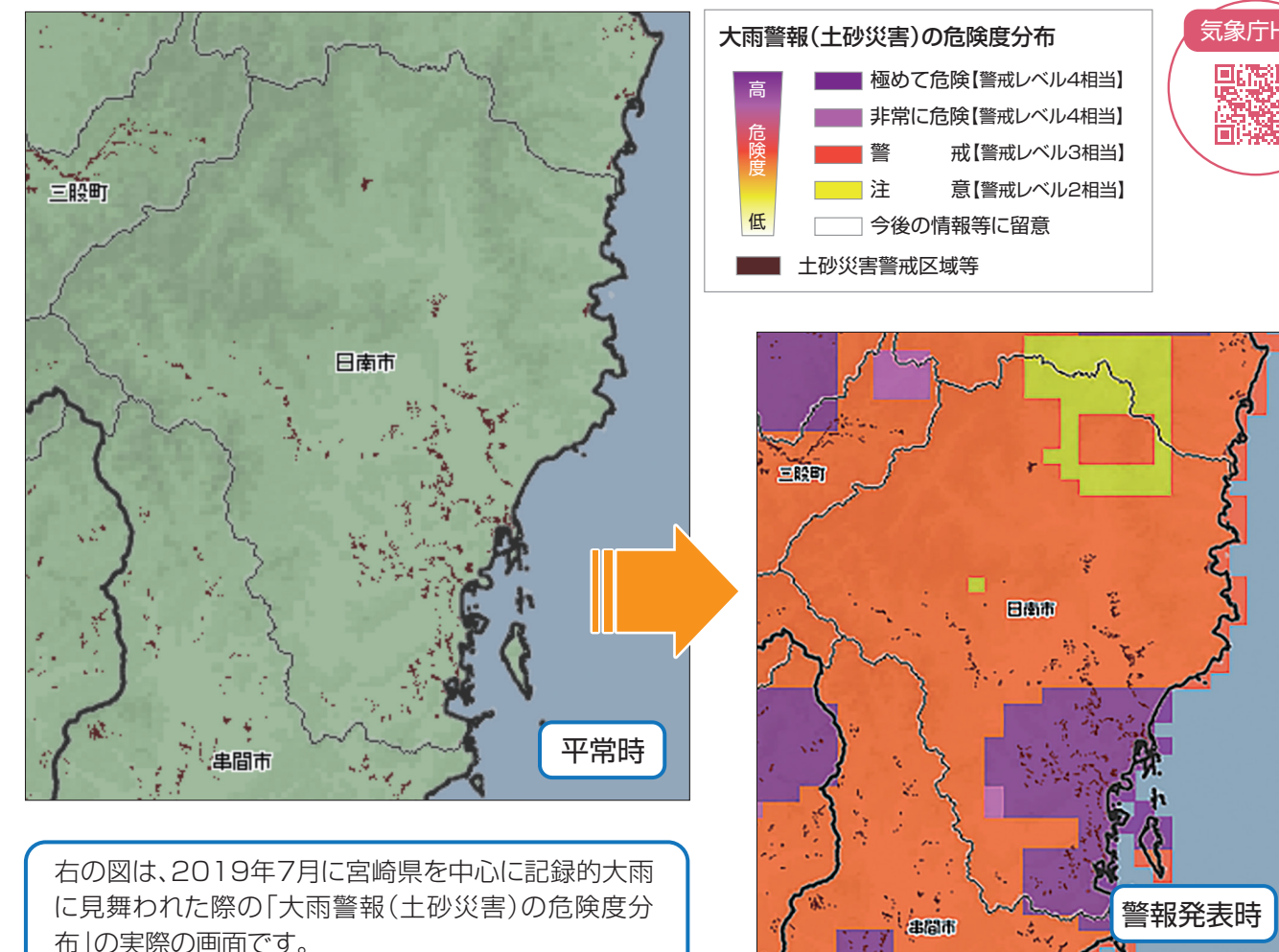
この区域にお住まいの方は、気象情報や川の防災情報などを収集して、速やかに立退き避難できるよう日頃から準備しましょう。

土砂災害

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。

●大雨警報(土砂災害)の危険度分布

大雨警報(土砂災害)の危険度分布は、大雨による土砂災害発生危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間を確保するために、危険度の判定には2時間先までの雨量及び土壌雨量指数の予測値を用いています。



右の図は、2019年7月に宮崎県を中心に記録的大雨に見舞われた際の「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」の実際の画面です。

●土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、市長が避難勧告等を発令する際の判断材料となる重要な情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、自主避難の判断を行ってください。

また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあります。防災情報や土砂災害の前兆現象(P18参照)などにも十分注意してください。

大雨警報が発表された後、さらに大雨が続くと、土石流などの土砂災害のおそれが高まります。

土砂災害警戒情報の発表

宮崎県と宮崎地方気象台が共同で土砂災害の危険性が極めて高い市町村名を発表します。

日南市ではこれを受け、**避難勧告** **避難指示(緊急)**

などを発令する場合があります。テレビやラジオ等からの広報に十分気を付けてください。